

第10回全日本空手道選手権大会・小中高生組手選抜

第17回全国ジュニア空手道選手権大会 開催のご案内

掲題大会を下記の通り開催いたします。幼年以外の各階級上級ベスト4は、今年10月14日(日)開催のIBKO主催第10回全日本大会(横浜文化体育館開催)の出場権を獲得します。奮ってご参加下さい。 極真会館坂本派 大会実行委員会

日時	2018年5月13日(日) 午前8:45開場 9:30開会式 9:45試合開始
会場	横浜文化体育館 神奈川県横浜市中区不老町2-7 tel 045-641-5741
参加費	6,000円《軽食付き》
×切日	2018年2月17日(土)必着 3月5日(月)から組合せを開始します。
申込方法	団体一括で現金書留でお送り下さい。 tel (045)593-3747 〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田1-14-21 極真会館港北道場

試合階級	* 申込書の試合階級欄には下記の番号を記入。記入間違えは失格となりますのでご注意ください。				
幼年(男女混合)	①年中	②年長			
小1(男女混合)	③初級	④上級	小学生上級・中学生高校生全階級 第10回全日本大会選抜対象		
小2(男女混合)	⑤初級	⑥中級	⑦上級	2018年4月からの 新学年で階級を選択して下さい	
小3(男女混合)	⑧初級	⑨中級	⑩上級		
小4(初級男女混合)	⑪初級	⑫中級	⑬女子上級	⑭男子上級	
小5(初級男女混合)	⑮初級	⑯女子上級38kg未満	⑰女子上級38kg以上	⑱男子上級38kg未満	⑲男子上級38kg以上
小6(初級男女混合)	⑳初級	㉑女子上級43kg未満	㉒女子上級43kg以上	㉓男子上級43kg未満	㉔男子上級43kg以上
中1女子	㉕47kg未満	㉖47kg以上	中2・3女子	㉗52kg未満	㉘52kg以上
中1男子	㉙50kg未満	㉚50kg以上	中2・3男子	㉛55kg未満	㉜55kg以上
高1男子	㉝60kg未満	㉞60kg以上	高2・3男子	㉟65kg未満	㊱65kg以上

- \* 参加人数の少ないクラスは、事前に連絡し統廃合します。
- \* 「~kg未満」の階級の選手は、試合前に計量を行います。空手着を着た状態で測定し、規程体重2kg以上オーバーで失格となります。計量は厳しく行いますので、申込み時点で規程体重ギリギリの選手は上の階級に出場する様にして下さい。
- \* 申告体重が実体重より5kg以上の差があった場合失格もあります。大会当日、状況によっては計量が必要な階級でも計量をお願いすることがございますので、出場申込書記入時にご留意願います。
- \* 当連盟の級基準は以下の通りです。参考にして下さい。白(無級) 橙(10-9級) 青(8-7級) 黄(6-5級) 緑(4-3級) 茶(2-1級) 黒(初段以上) <初級>小1・小2・小3青帯まで、小4青帯まで、小5以上は黄まで。 <中級>小2・小3青帯まで、小4黄帯まで。
- \* 過去2年間のJKJ0全日本 Jr 代表、昨年の全日本大会ベスト4、昨年の神奈川・全国大会中級以上の優勝・準優勝者は上級に出場して下さい。昨年の神奈川・全国大会初級の優勝・準優勝者は中級に出場して下さい。中級が無いクラスは上級に出場して下さい。

防具 試合時間	階級	ヘッドガード	拳サポ	グローブ	スネ	ヒザ	金的・アング	女子胸部	試合時間
	幼・小学生	○(前網)	○	×	○	3年以上○	○	3年以上○	本戦1分30秒一延長1分(決勝のみ最終延長1分)
	中学生	○(前網)	×	○	○	○	○	○	本戦2分一延長2分(決勝のみ最終延長2分)
	高校生	任意	×	○	○	○	○	○	本戦2分一延長2分(決勝のみ最終延長2分)

- \* ヘッドガードは主催者が用意。JKJ0指定ヘッドガードのみ持込み可とする。グローブ以外の防具貫通なし。各自規定防具を用意。
- \* 拳サポーターは極真、士衛塾、JKJ0のロゴ入りを使用すること。\* 全選手、金的・アングガードはズボンの内側に着用すること。
- \* 女子胸ガードは、IBKO製ディフェンス・フェスター、マンタワルド製CG32、伊製L-711、TT-28、又は同等の素材・形状のもの。
- \* 女子胸ガード：小2以下使用禁止。小3以上着用義務。胴全体を覆う形のもの禁止、プラスチック製使用禁止。
- \* ヒザサポ：小2以下使用禁止。小3以上着用義務。
- \* グローブ以外の防具は白の布製を使用。女子選手インナーTシャツの色も白限定とします。
- \* 高校生はヘッドガード着用任意。着用の場合前網無し。マウスピース使用を推奨します。
- \* テーピング類は大会ドクター(救護士)のチェックを受けたもののみ許可する。ハードテープ使用不可。
- \* 小学生以下上段蹴蹴り禁止。その他、試合規約詳細は別紙参照。防具については、IBKO公式サイト防具情報参照下さい。

- \* フリー参加は不可です。団体名非公開はお受けしますので申込書に記入願います。
- \* 一旦納入された参加費はご返却できません。中止となったクラスの出場料は返金いたします。
- \* 試合中負傷または事故が生じた場合主催者は応急処置をしますがそれ以上の責任を負いません。各自保険に加入しておいて下さい。
- \* ゼッケンは当日、各団体まとめて配布いたします。 \* 駐車場はありません。電車のご利用をお願い致します。

キ リ ト リ 線

第17回全国ジュニア空手道選手権大会出場申込書

私儀、本大会のルール、規約に同意し、正々堂々と技を競い合うことを誓います。試合中及び施設内外での暴行、負傷、盗難等があった場合の責任は一切を自身、並びに保護者が負い、主催者に真摯、苦情の申し立て、損害を与えない事を確認します。

所属道場名 (支部名)	極真会館 坂井派 愛知 石川道場		署名	未成年の場合、保護者署名捺印				
出場者名 (ふりがな)	性別	生年月日 年齢 (大会当日)	新学年 *2018/4現在	級 帯色	身長 cm	体重 kg	試合階級 (上表の番号記入)	
(ふりがな)	男・女	西暦 平成 年 月 日	年中・年長 小・中 高 年	級 段 色	cm	kg		
住所(〒 ) ( ) TEL ( ) ( )	2016~2018年大会入賞歴(主催者・大会名・階級・順位)							

★パンフレットに名前を記載しますので、ふりがなも忘れずにご記入願います。  
★身長・体重の記入漏れ、学年(新学年)の記入ミス、試合階級の記入ミス等がないようお願い致します。 \* 出場料 6,000円 締切 2/17(土) 大会事務局必着

# 第14回全国学生空手道選手権大会団体戦

(主催 国際空手道連盟極真会館坂本派 大会実行委員会)

1. 開催日 2018年5月13日(日)
2. 選手受付 8時45分 個人戦受付と同時に団体受付  
\*団体戦のみに参加する団体： 正午受付 午後1時半試合開始予定
3. 会場 横浜文化体育館 神奈川県横浜市中区不老町2-7 tel 045-641-5741
4. 入場料 無料
5. 試合ルール 国際空手道連盟ルール
6. 出場資格 流派・会派不問。フリー参加、道場名の使い分け不可。団体名非公開は可能です。  
①小学生の部/選抜小学生の部(学年別、5人制) ②小学生女子の部(学年別、3人制)  
③中学生女子の部(学年/体重制限なし、3人制 最軽量者を先鋒、最重量者を大将とする)  
④中学生男子の部(体重別、3人制、①50kg未満 ②60kg未満 ③体重無差別)  
\*2018年4月の新学年で出場して下さい。  
\*代表者が異なる2道場以内の混合編成可。  
\*小学生の部は、過去2年間のJKJO全日本Jr代表、IBKO全日本代表参加不可。  
\*選抜小学生の部は、全日本大会選抜という意味ではありません。  
\*小学生の部、選抜小学生の部に女子の参加可能ですが、実学年で出場して下さい。
8. 申込方法 以下の①～③を所属団体一括現金書留で、大会事務局に郵送して下さい。  
① 出場申込書(別紙所定用紙) ② 出場申込書総括表(別紙所定用紙)  
③ 出場料 小学生1チーム15,000円 小学生女子・中学生1チーム9,000円  
\*お弁当は出ません。
9. 申込締切 2018年2月17日(土)必着
10. 注意事項 ①学年の記入間違い、偽った申込は失格となります。  
②選手は事前に健康診断を必ず受診して下さい。(診断書提出不要)  
③スポーツ保険に各自加入して下さい。試合当日は健康保険証の持参をお勧めします。  
④試合中負傷または事故が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。  
⑤何らかの理由で参加不可能となった場合は必ず大会事務局まで連絡して下さい。  
⑥大会事務局に納入した参加費はいかなる理由があろうとご返却できません。  
⑦駐車場はありません。電車のご利用をお願い致します。  
⑧団体戦のゼッケンはありません。  
⑨出場選手の肖像権は主催者に帰属します。出場選手の映像や画像(氏名等も含む)は、主催者発行の広告・出版物、カタログ、ホームページ等に使用することがあります。また、各種メディアが取材する場合があります。映像や画像が放映、掲載される場合があることをご了承下さい。  
⑩2名以内のコーチ・セコンドとチームメンバーのみセコンド席で応援できます。相手チームに対し礼節を欠いた応援「効いた」「倒せ」などは禁止です。  
⑪体重別階級(無差別以外)は出場コートで計量があります。空手衣を着た状態で計量、規程体重2kg以上オーバーで失格となりますので、ご注意ください。
11. 大会事務局 〒224-0021 神奈川県横浜市中区北山田1-14-21 極真会館 港北道場  
Tel (045) 593-3747 Fax (045) 592-4239 メール secretariat@kyokushin-sakamoto.com  
公式ホームページ <http://www.kyokushin-sakamoto.com>

## 団体戦試合規約

1. 試合時間

学年		本戦	延長戦	再延長戦
全階級	代表戦以外	1分30秒		
全階級	代表戦	1分30秒	1分	1分(2分)

\*団体戦は本戦のみで引分けもありえます。  
但し、全試合の結果、勝敗の決着が付かない場合、大将による代表戦で勝敗を決定します。
2. チームの勝敗 勝敗決定の優先順位は、①勝ち数 ②技ありの数(一本勝ちとは技あり2とする) ③判定時あがった旗の合計本数とする。それでも決まらない場合は、代表戦(大将戦)で勝敗を決定する。\*途中でチームの勝敗が決定しても残りの試合を行います。
3. その他は、個人戦試合規約に準ずる。

# 全国学生空手道選手権大会団体戦 チーム編成について

(主催 国際空手道連盟極真会館 坂本派 大会実行委員会)

## 1. 道場混合チームについて

代表者が異なる2道場以内の混合編成を認めます。

## 2. チーム編成

I) 小学生の部/選抜小学生の部は1チーム5人制、小学生女子と中学生の部は1チーム3人制とする。

II) 小学生の部/選抜小学生の部は、1・2年生から1名、2・3年生から1名、3・4年生から1名、

4・5年生から1名、5・6年生から1名選出する。

III) 小学生女子の部は、1・2年生から1名、3・4年生から1名、5・6年生から1名選出する。

III) 中学生女子の部は学年・体重の制限はありません。3名選出し、最軽量者を先鋒、最重量者を大将とすること。

IV) 中学生男子の部は体重別に3名選出する。①先鋒 50kg未満 ②中堅 60kg未満 ③大将 体重無差別

V) 小学生の部/選抜小学生の部は学年の一番若い選手を1番、最高学年を5番とする。

1回戦目は1番の選手が先鋒、2番の選手が次鋒、3番の選手が中堅、4番の選手が副将、5番の選手が大将として試合を行う。勝ち数の多いチームが勝者となる(詳細は別紙「団体戦試合規約」参照)。勝ち数が同数の場合は技ありの多いチームが勝ちとなるが、それも同数の場合は旗の本数で決着する。それでも決まらない場合は、代表戦(大将戦)で勝敗を決定する。1回戦目の大将戦は5番の選手が行う。

2回戦目は2番の選手が先鋒、3番の選手が次鋒、4番の選手が中堅、5番の選手が副将、1番の選手が大将となる。2回戦目の大将戦を行う場合は、1番の選手が試合を行う。

3回戦目以降も同様に選手が入れ替わる。小学生女子の部も同様とする。下表参照。

		選手No	備考
1回戦目	先鋒	1	小学1・2年生から選出
	次鋒	2	小学2・3年生から選出
	中堅	3	小学3・4年生から選出
	副将	4	小学4・5年生から選出
	大将	5	小学5・6年生から選出

		選手No	備考
2回戦目	先鋒	2	小学2・3年生から選出
	次鋒	3	小学3・4年生から選出
	中堅	4	小学4・5年生から選出
	副将	5	小学5・6年生から選出
	大将	1	小学1・2年生から選出

		選手No	備考
3回戦目	先鋒	3	小学3・4年生から選出
	次鋒	4	小学4・5年生から選出
	中堅	5	小学5・6年生から選出
	副将	1	小学1・2年生から選出
	大将	2	小学2・3年生から選出

		選手No	備考
4回戦目	先鋒	4	小学4・5年生から選出
	次鋒	5	小学5・6年生から選出
	中堅	1	小学1・2年生から選出
	副将	2	小学2・3年生から選出
	大将	3	小学3・4年生から選出

		選手No	備考
5回戦目	先鋒	5	小学5・6年生から選出
	次鋒	1	小学1・2年生から選出
	中堅	2	小学2・3年生から選出
	副将	3	小学3・4年生から選出
	大将	4	小学4・5年生から選出

		選手No	備考
6回戦目	先鋒	1	小学1・2年生から選出
	次鋒	2	小学2・3年生から選出
	中堅	3	小学3・4年生から選出
	副将	4	小学4・5年生から選出
	大将	5	小学5・6年生から選出

VI) 中学生の部は、先鋒・中堅・大将の順番に全試合を行う。

## 3. 注意事項

- 1) 病気や怪我、その他やむを得ぬ事情により選手が欠場した場合、大会当日の団体戦選手受付時に、選手の変更を受け付けます。
- 2) 選手が試合中負傷し、大会医師の診断により次の試合に出場できない場合は、他のチームにエントリーしていない補欠の選手を次の試合から代わりに出場させることができます。その場合は、速やかに大会主催者の承諾を得てください。
- 3) 一人の選手が複数のチームにダブルエントリーすることはできません。

# 第14回全国学生空手道選手権大会団体戦 出場申込書

2018年5月13日(日) 横浜文化体育館 切2月17日(土)必着

大会事務局 〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田1-14-21 極真会館港北道場 tel 045-593-3747

大会実行委員会 殿

私儀、本大会のルールに従い正々堂々と競い合うことを誓います。試合中における事故、負傷に関し一切の異議申し立てを致しません。

2018年 月 日

チーム名

責任者名

印

連絡事項送付先となり ます チーム代表道場名	(フリガナ) 名称		支部名			
	(フリガナ) 代表者名		支部責任者名			
	本部住所 〒( )		電話( )	-	FAX( )	-
	書類送付先住所 〒( )		*基本的に、団体代表者又は支部責任者の方の住所をご記入下さい。			
		宛名		様		
電話( )		FAX( )		メール		

出場クラス (○して下さい)	小学生の部 (5人制、学年別) <small>過去2年のJKS全日本代表 15KG全日本代表出場不可</small>	選抜小学生の部 (5人制、学年別) <small>全日本選抜ではありません</small>	小学生女子の部 (3人制、学年別)	中学生女子の部 (3人制)	中学生男子の部 (3人制、体重別)
1	(フリガナ) 選手氏名	男・女	級 段	小・中 年生	cm kg 所属道場名
	平成 年 月 日生				
2	(フリガナ) 選手氏名	男・女	級 段	小・中 年生	cm kg 所属道場名
	平成 年 月 日生				
3	(フリガナ) 選手氏名	男・女	級 段	小・中 年生	cm kg 所属道場名
	平成 年 月 日生				
4 <small>小学生の部のみ</small>	(フリガナ) 選手氏名	男・女	級 段	小 4・5年生	cm kg 所属道場名
	平成 年 月 日生				
5 <small>小学生の部のみ</small>	(フリガナ) 選手氏名	男・女	級 段	小 5・6年生	cm kg 所属道場名
	平成 年 月 日生				

小学生の部/選抜小学生の部：先鋒(1-2年生)次鋒(2-3年生)中堅(3-4年生)副将(4-5年生)大将(5-6年生)

小学生女子の部：先鋒(1-2年生)中堅(3-4年生)大将(5-6年生)

※選抜小学生の部は各団体2チーム以内

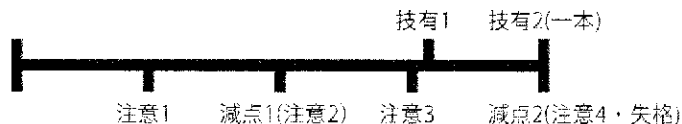
中学生女子の部：学年、体重制限なし。但し最軽量者を先鋒、最重量者を大将とすること

中学生男子の部：先鋒(50kg未満)中堅(60kg未満)大将(体重無差別)

\*パンフレットに名前を記載しますので、フリガナも忘れずにご記入下さい。

2018年4月の新学年で記入

## 審判判定基準 (図解)



0	注意1	注意2	注意3	> 注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0	>又は=	注意2			注意差2の時は基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け。
0			> 注意3		注意差3の時はどんな試合内容でもリードしていても技有りを取らない限り負けである
0				> 注意4	注意4になった時点で失格
	注意1	>又は=	注意3		注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け。
	注意1			> 注意4	注意4になった時点で失格になるので相殺されない
		注意2		> 注意4	注意4になった時点で失格

0	<	技有 + 注意1	注意2	注意3	>	技有 + 注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0		<	技有 + 注意2				注意差2でも技有りがあるので勝つてある
0			<又は=	技有 + 注意3			技有りにより基本的に勝ちだが、8:2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では勝ち。
0					>	技有 + 注意4	技有りがあっても注意4になった時点で失格
	技有 + 注意1	>又は=	技有 + 注意3				注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け。
	技有 + 注意1				>	技有 + 注意4	注意4になった時点で失格
		技有 + 注意2			>	技有 + 注意4	注意4になった時点で失格

キリトリ線

団体責任者様へ 各出場申込書と共に、本総括表をご提出下さいますようお願いいたします。

●第17回全国ジュニア空手道選手権大会 ●第14回全国学生空手道選手権大会

## 出場申込書 総括表

代表者または支部ご担当者の印をお願いします。

ふりがな 団体名	支部名
ふりがな 代表者名	ご担当者 (役職)
書類等送付先住所 (〒 )	
TEL	FAX
メールアドレス	

事務効率化のため、メールアドレスのご記入にご協力をお願いいたします。  
携帯の場合、@kyokushin-sakamoto.com のドメインを受信可能に設定して頂くとメールで各種ご案内をお送りできます。

全国ジュニア空手道選手権大会	人	出場料	円
団体戦・小学生の部・選抜小学生の部 (5人制)	チーム	出場料	円
団体戦・小学女子・中学生の部 (3人制)	チーム	出場料	円
合計		出場料	円

団体戦・選抜小学生の部は参加料がチーム以内となります。

## 試合規約（国際空手道連盟ルール・小学生以下）

1. 審判基準 審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定は、すべて審判長の裁きによる。「一本」「技あり」「反則」「場外」「判定」などの場合、5名の審判員のうち3名以上の判断で有効とする。2名以下及び主審のみの判断は認めない。但し、5名の審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。試合の規定時間は以下の通りとする。但し、必要と認めた場合は、審判長の裁量により、あらためて時間を設定することもありうる。大会進行は極力、予定スケジュールに沿わせるが、やむを得ない事態が起きた場合は、審判長と審議委員が協議の上、審判長が変更を指示することができる。
2. 試合時間 ①準決勝まで 本戦1分30秒 → 延長戦1分(マスト)  
②決勝戦 本戦1分30秒 → 延長戦1分 → 最終延長戦1分(マスト)  
※体重判定はありません。最終延長戦で勝敗を決定します。
3. 防 具
- | 階級    | ヘッドガード | 拳サポ | Pグローブ | スネ | ヒザ    | 金的・女子アンダー | 女子<br>胸ガード |
|-------|--------|-----|-------|----|-------|-----------|------------|
| 小学生以下 | ○      | ○   | ×     | ○  | 3年以上○ | ○         | 3年以上○      |
- ※ヘッドガードは主催者が用意するが、JKJO指定ヘッドガードのみ持込み可とする。その他防具の貸与なし。  
※拳サポーターは極貞、士衛塾、JKJOのロゴ入りを使用すること。  
※ヒザサポ：小学3年以上着用義務。女子胸ガード：小学2年以下禁止、小学3年以上着用義務。  
※全選手、金的ガード、又は女子アンダーガードを着用。ズボンの内側に着用すること。  
※女子胸ガードは、IBKO製「イェム・フェスター、マニカール」製CG32、イミ製L-711、TT-28、又は同等素材・形状のもの。女子アンダーガードは、イミ製SS6又は同等素材・形状のもの。  
※防具類は全て白の布製を使用すること。皮革製のサポーターは使用不可。  
※女子選手のインナーTシャツの色は白限定とします。  
※テーピング類は大会ドクター(救護士)のチェックを受けたもののみ許可する。ハードテープ使用不可。
4. 着 衣 清潔な空手着を着用し規定のゼッケンを背中中央に貼り付けること。
5. 一本勝ち ①反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒したとき、又はダメージにより、相手が泣いたり、戦意喪失した場合。  
②技あり2本で合わせ一本勝ちとする。
6. 技 あ り ①反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより相手の動きが一時的に止まった時、又は大きく崩れた場合、体がくの字になった場合、防戦一方になった場合、足をひきずる様な場合。  
②ノーガードで相手に上段の蹴り技がヒットした場合（但し、小学生以下は上段膝蹴り禁止）  
③前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。審判員の判断により、下段突きが無くても技ありとすることもある。  
④胴廻し回転蹴りをかわし瞬時にタイミングよく下段突きを決めた場合。  
⑤全く同じタイミングに両選手の蹴り技が決まった場合は相打ちとし、両方技ありとしない。
7. 判 定 一本勝ち、失格がない場合は主審、副審のうち、過半数の審判の判定で決める。  
判定の優先順位は、①技あり ②ダメージ ③有効打 ④積極性 とする。  
但し、注意がある場合は、別表「審判判定基準（図解）」の通りとする。
8. 反 則 判定が決まらない場合は延長戦を行い、延長戦でも決着しない場合は最終延長(決勝のみ)で決定する。  
①手、肘による顔面、首、のどへの攻撃。 ②金的蹴り、頭突き。  
③上段膝蹴り(ヒットした場合、注意が与えられる) ④倒れた相手への攻撃。 ⑤背後からの攻撃。  
⑥故意に場外に出ること。 ⑦掌底押し、正拳押し、つかみ、投げ、手掛け、クリンチ。  
⑧頭や胸をつけての攻撃。 ⑨技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れ相手に攻撃をさせない)  
⑩倒れこむ様な捨て身の蹴り(回転胴廻し蹴り等)は、1試合1回までとし(本戦1回、各延長1回)、それ以上繰り返す場合は反則とみなす。  
⑪相手の技を殺す目的で、むやみに相手に休を寄せること。  
⑫その他、審判が反則とみなした場合。  
⑬反則行為には注意が与えられ、注意4回で失格となる。注意は先に反則を仕掛けた方に与えられる。  
⑭悪質な反則の場合は1回だけで、失格もありうる。
9. 減 点 ①注意を2回与えられたとき。②悪質な反則を行ったとき。
10. 失 格 ③審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。 ④減点2で失格となる。  
①減点2となったとき。 ②審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。  
「雄叫び」「ガッツポーズ」、相手選手に対する「効いた」「倒せ」等の応援は失格になる可能性があります。  
③試合中(主審が試合終了の台詞を行う前までに)嘔吐したとき  
④出場時刻に遅れたり、出場しないとき。  
⑤応援態度が悪質な場合も失格となることがある。  
⑥当日の計量により、規定の体重を超えているとき。(空手衣を着用し2kg以上超えた場合失格)  
⑦申告体重と計量体重に5kg以上の差がある場合、失格もありうる。  
⑧反則により相手が試合続行不能になったとき。
11. そ の 他 判定に対する抗議は一切認めません。

# 試合規約（国際空手道連盟ルール・中学～一般・地区地方大会用）

1. 審判基準 審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。「一本」「技あり」「反則」「場外」「判定」などの場合、5名の審判員のうち3名以上の判断で有効とする。2名以下及び主審のみの判断は認めない。但し、5名の審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。試合の規定時間は以下の通りとする。但し、必要と認められた場合は、審判長の裁量により、あらかじめ時間を設定することもありうる。大会進行は極力、予定スケジュールに沿わせるが、やむを得ない事態が起きた場合は、審判長と審議委員が協議の上、審判長が変更を指示することができる。

2. 試合時間 本戦2分 → 延長2分 → (決勝のみ) 最終延長2分  
※体重判定はありません。最終延長戦で勝敗を決定します。

3. 防具

階級	ヘッドガード	拳サポ	Pグローブ	スネ	ヒザ	金的・女子 アンダー	女子胸ガード
高校以上男子	任意	×	○	○	○	○	×
高校以上女子	任意	×	○	○	○	○	○
中学男子	○(前網有)	×	○	○	○	○	×
中学女子	○(前網有)	×	○	○	○	○	○

※ヘッドガードとPグローブは主催者用意。JKJO指定ヘッドガードのみ持込み可。その他防具の貸与なし。

※ヘッドガード装着は中学以外の階級は任意。装着する場合前網無し。マウスピース着用を推奨。

※中学男子、中学女子の部はヘッドガード(前網有)の装着を義務とする。

※金的ガード・アンダーガードはズボンの内側に着用すること。

※女子胸ガードは、IBKO製ディフェンス・チェスター、マシカールド製CG32、伊製I-711、TT-28、又は同等素材・形状のもの。女子アンダーガードは、伊製SS-6又は同等素材・形状のもの。

※Pグローブは極真オプティマグローブ、又はマシカールド付付き同形状のグローブとする。2016年10月掌側の仕様が変わったが、旧型・新型共に使用可。

※Pグローブ以外のサポーターは白の布製を使用すること。皮革製のサポーターは使用不可。

※女子選手インナーTシャツの色は白限定とします。

※テーピング類は大会ドクター(救護士)のチェックを受けたもののみ許可する。ハードテープ使用不可。

※Pグローブ(指定品)を事前に購入したい方は大会事務局までお問い合わせ下さい。

4. 着衣 清潔な空手着を着用し規定のゼッケンを背中中央に貼り付けること。

5. 一本勝ち 反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたとき一本勝ちとする。技あり2本で合わせ一本勝ちとする。

6. 技あり ①反則箇所を除く部分へ突き、蹴り、肘打ち等をきめ、相手選手が一時的にダウンもしくは戦意喪失し、3秒以内に立ち上がった時、又は倒れはしないがバランスを大きく崩した時。一般男子以外の階級はノーガード状態で蹴りがクリーンヒットした場合も技ありとする。全階級、上段膝蹴りを有効とする。  
②前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合  
③胴廻し回転蹴りをかわし瞬時にタイミングよく下段突きを決めた場合。

7. 判定 一本勝ち、失格がない場合は主審、副審のうち、過半数の審判の判定で決める。

判定の優先順位は、①技あり ②ダメージ ③有効打 ④積極性 とする。

但し、注意がある場合は、別表「審判判定基準(図解)」の通りとする。

判定が決まらない場合は延長戦を行い、延長戦でも決着しない場合は最終延長(決勝のみ)で決定する。

8. 反則 ①手、肘による顔面、首、のどへの攻撃。手先が触れても反則とする場合がある。

②金的蹴り、頭突き。 ③倒れた相手への攻撃。 ④背後からの攻撃。

⑤故意に場外に出ること ⑥掌底押し、正拳押し、つかみ、投げ、手掛け、クリンチ。

⑦枝の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れ相手に攻撃をさせない)

⑧倒れこむ様な捨て身の蹴り(回転胴廻し蹴り等)は、1試合1回までとし(本戦1回、各延長1回)、それ以上繰り返す場合は反則とみなす。

⑨相手の技を殺す目的で、むやみに相手に体を寄せること。

⑩その他、審判が特に反則とみなした場合。

⑪反則行為には注意が与えられ、注意4回で失格となる。注意は先に反則行為を仕掛けた方に与えられる。⑫悪質な反則の場合は、失格もありうる。

9. 減点 ①注意を2回与えられたとき。②悪質な反則を行ったとき。

③審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。④減点2で失格となる。

10. 失格 ①減点2となったとき。②審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。

「雄叫び」「ガッツポーズ」、相手選手に対する「効いた」「倒せ」等の応援は失格になる可能性があります。

③出場時刻に遅れたり、出場しないとき。

④応援態度が悪質な場合も失格となることがある。

⑤当日の計量により規定の制限体重を越えているとき。(道衣を着用し2kg以上超えた場合失格)

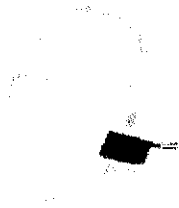
⑥中舎体重と計量体重に5kg以上の差がある場合、失格もありえる。

⑦反則により相手が試合続行不能になったとき。

11. その他 判定に対する抗議は一切認めません。

## 指定防具

ヘッドガード



JKJO指定ヘッドガードのみ持込み可  
お持ちでない場合は、コートで  
レンタル品を借りて下さい。

拳サポーター



☆形状

極真・JKJO・士衛塾  
ロゴが入っている  
拳サポーターのみ

Pグローブ  
(中学生以上)



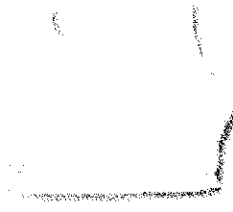
極真ロゴ入りオープンフィンガーグローブ  
(黒革製) 掌側がオープンタイプの新型と  
クローズタイプの旧型があり両方可。  
白革製のJKJO指定グローブの使用は不可。

## 推奨防具

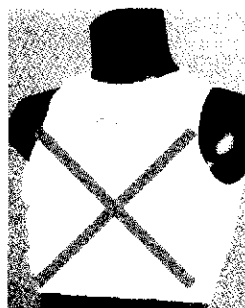
女子アンダーガード



女子胸部プロテクター



カップ素材が硬質プラスチック  
でないもの



肋骨・みぞおちをカバー  
するものは使用不可